

①学習課題（中学校1年生）



【国語】

<内容>

○教科書の「わかりやすく説明しよう 観点を立てて書く」（P36～P39）を読んで、身近な事柄についての説明文を書き、書いた内容を家の人に伝えよう。

（前週からの継続）

<取り組み方>

① 説明する事柄について、「前週の③」で整理した表を見ながら、どの観点のどの情報が必要か、どのような順序で伝えるとわかりやすいか考え、「構成メモ」を作成してみよう。

- ・教科書 P38 下段「構成メモの例」を参考にして、説明に必要な情報や説明する順序を考え、伝えたい内容や観点ごとに短い文や言葉を書き出してみよう。
- ・目的や、相手がどの程度の知識をもっているかなどを考えて、必要な観点と情報を選んでみよう。
- ・併せて、必要な情報だと考えた理由、その順序にした理由、内容に関する工夫についても書いてみよう。

例) ●●公園のことを知らない友達に伝えるので、「場所」に関する情報は必要だと思う。そのため、「場所」から説明することとした。でも「思い出」の情報はいらないと考えた。

- ・順序を入れかえると強調されたり、印象深くなったりするので、工夫してみよう。

② ①の「構成メモ」を基にして、400字程度で説明の文章を書いてみよう。

③ 完成した文章の内容や取り組んだ感想を家の人に伝えよう。

※①～②に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※③について、家の人に伝えることが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して行うということでもかまいません。

【社会】

<内容>

地域によって気候に違いがでてくるのはなぜだろう？そして気候帯はどのように分布しているのだろうか？取組シートやノートにまとめてみよう。

<取り組み方>

- (1)教科書 P24～25 に載せられている世界各地の写真を見ると、地域（場所）によって様子が異なりますね。3枚の写真を見ながら、それぞれどのような特色があるのかを説明しましょう。
- (2)なぜ、(1)のような違いが見られるのでしょうか。理由を考えてみましょう。困った時には、教科書 P23 の地図や P24 の本文を参考にしてください。
- (3)気候帯とは、生育している植物の分布などをもとに、気候の特色が似ている地域をいくつかに分けて区分したものです。以前に取り組んだ「世界の略地図」を描き、教科書 P23 を見ながら、世界の気候帯の分布を大まかに書き込みましょう。そのとき、教科書のように色分けしたり、模様を付けたりするとわかりやすいですね。
- (4) (3)で作成した分布図を見ながら、それぞれの気候帯がどのあたりに分布しているかをまとめましょう。
※予習となりますが、それぞれの気候帯が、なぜ、(4)でまとめた地域に分布しているのだろうか、その理由も考えてみましょう。

<学習のヒント>

- (2)「太陽から受ける熱の量」という語句を用いて理由を考えてみましょう。
- 課題の取組においては、地図帳も活用しましょう。

【数学】**<内容>**

乗法をもとにして、正・負の除法を考えよう。

～どんな除法でも商が求められる計算方法は？～

<取り組み方>

- ① 教科書 P43 のQの□に当てはまる数を考えてみよう。また、なぜその数になるのか「取組シート」やノートに説明を書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）
- ② ①の□に当てはまる数を求める計算式を作ってみよう。
- ③ 正、負の数の除法について、2数の符号や絶対値に注目して、気付いたことを「取組シート」やノートにまとめてみよう。（家の人に説明してもよいです。）
- ④ 分数の除法 $\left(-\frac{5}{7}\right) \div \frac{2}{3}$ はどのように計算すればよいか、計算方法を「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）
- ⑤ 次の㉗、㉘の計算をして、その結果を比べてみましょう。

$$\text{㉗ } 15 \div (-3) \qquad \text{㉘ } 15 \times \left(-\frac{1}{3}\right)$$

また、計算の結果を比べ、除法についてわかることを「取組シート」やノートにまとめてみよう。（家の人に説明してもよいです。）

<学習のヒント>

- ① 前回の課題で学習したことを思い出して、□に入る数を考えてみよう。分からないときは、教科書 P41 の重要を参考にしながら、符号はどうか、絶対値はどうかを考えてみよう。
- ② □に当てはまる数を求める計算は、乗法の逆の計算になることを小学校で学習しましたね。わり算のことを中学校では除法といいます。
- ③ 今まで学習してきた加法や乗法のように、商の求め方の特徴をまとめてみよう。まとめ方がわからない時には、教科書 P44 の重要を参考にしよう。
- ④ 小学校のときに学習したことを思い出してみよう。正、負の数でも同じように考えることができるでしょうか。
計算方法が思いつかない場合は、除法を乗法にする方法を考えてみよう。逆数がポイントです。逆数について分からない場合は、教科書 P45 のふりかえりにかかれています。
- ⑤ 2つの計算の違いや㉗の(-3)と㉘の $\left(-\frac{1}{3}\right)$ のような2数の関係性にも注目して、
③でまとめたことや④で考えたことを踏まえてまとめてみよう。
負の数の逆数については、教科書 P45 の5行目に書かれています。

【理科】

<内容>

◆プラスチックにはどのような性質があるか、ペットボトルを使って考えてみよう。

<取り組み方>

- ① 家にあるペットボトルをキャップ、ラベル、ボトルに分け、手触りやかたさ、水の中に入れたときの浮き沈みの様子など、比べて気付いたことを記録しましょう。
- ② 教科書 P134 を参考に、プラスチックの種類や性質についてまとめてみましょう。
- ③ ペットボトルのキャップ、ラベル、ボトルはそれぞれどの種類のプラスチックなのか、②のまとめを見ながら、自分なりの考えをもって予想してみましょう。

<学習のヒント>

- ・ボトルの浮き沈みを調べるときは、中を水で満たして空気が入らないようにしましょう。ボトルの一部を切り取って調べる際には、切り口などでけがをしないようにしましょう。
- ・教科書 P135 の図 19 にあるような燃え方を調べる実験は危険なので、家庭では行わないでください。
- ・ペットボトル以外にも、身のまわりにあるプラスチック製品がどのような種類でできているのか、見つけてみましょう。
- ・インターネットなどで調べて、教科書 P134 で紹介されている5種類以外のプラスチックを見つけたら、メモをしておきましょう。

【英語】

<内容>

・教科書 P14～15「①アルファベットになれよう」と P18～19「③アルファベットを書こう」に取り組みましょう。

<取り組み方> 2種類の学習方法がありますので、どちらかを選択しましょう。

★動画を見ながら取り組む課題です。

(1) 右のQRコードを読み取り、教科書会社のホームページにある授業映像「動画⑤Program1-1（教科書）p.14-15」を見ながら、アルファベットの文字と音について学習しましょう。



(2) 次は、アルファベットを書いてみましょう。

右のQRコードを読み取り、教科書会社のホームページにある授業映像「動画⑥Program1-3（教科書）p.18-19」を見ながら、「取組シート（外国語4線中学校）」または、家にある「英語のノート」に、アルファベットの大文字と小文字を何度も練習してみましょう。

※右上のQRコードが読み取れない場合は、教科書会社のホームページから視聴できます。
札幌市教育委員会ホームページ>「臨時休業中の学習課題」>PDF<中学校教科書一覧>

★動画を見ないで取り組むことができる課題です。

(1) 教科書 P14 の「アルファベットの文字と音」のチャレンジ①②のアルファベットを発音して、共通する音をさがしましょう。

(2) 教科書 P15 の「単語の中での文字と基本的な音」の(1)を見てください。これらのアルファベットの文字は、音が1つしかありません。小学校の時に学習した Sounds and Letters を思い出しながら、どのような音になるか、発音してみましょう。ヒント：bag の b はどのように発音しますか？声に出してみよう。

(3) 「単語の中での文字と基本的な音」の(2)を見てください。この2つのアルファベットの文字は、音が2つあります。小学校の時に学習した Sounds and Letters を思い出しながら、どのような音になるか、発音してみましょう。

ヒント：cat の c はどのように発音しますか？声に出してみよう。

game の g はどのように発音しますか？声に出してみよう。

(4) 「単語の中での文字と基本的な音」の(3)を見てください。これらのアルファベットの文字は、音が2つ以上あります。小学校の時に学習した Sounds and Letters を思い出しながら、どのような音になるか、発音してみましょう。

ヒント：apple（リンゴ）の a はどのように発音しますか？声に出してみよう。

egg（たまご）の e はどのように発音しますか？声に出してみよう。

ink の（インク）i はどのように発音しますか？声に出してみよう。

orange（オレンジ）の o はどのように発音しますか？声に出してみよう。

mountain（山）の u はどのように発音しますか？声に出してみよう。

(5) 教科書 P18, 19 を見ながら、「取組シート（外国語4線中学校）」または、家にある「英語のノート」に、アルファベットの大文字と小文字を何度も練習してみましょう。

動画の解説もあります。



【 保健体育 】

＜内容＞「体づくり運動」でねらいの異なる4つの運動に取り組んだことを基にして運動の計画を作成し、実践してみよう。

＜取り組み方＞

動画とイラストを参考に関節や筋肉の動きにあった運動を選んでやってみよう。

①【体の柔らかさ】＜18日～22日＞

今週はココ

今後の見通しです。
今週はやらなくていいです。

どの部位を解緊しているのかを意識しながら、可動範囲を徐々に広げるような、負荷の少ない動的な運動から始めよう。

体の各部位を前もって緊張したり、意識的に解緊したりして、可動範囲を広げよう。

リズムカルに曲げ伸ばし

ゆっくり10秒キープ

☞柔らかさ ※やってみた運動を書いてください

☞どのくらいの負荷をかけるとよいだろうか？

※今週は体の柔らかさについて行いました。来週以降
②⇒③⇒④⇒⑤と進んでいきます。

＜学習のヒント＞

- 体の柔らかさで気持ち良いとちょっと痛いところの間を探してみよう。
- 室内で行う場合も安全に留意して行いましょう。

②【巧みな動き】

ゆっくりした動きから素早い動き、小さいから大きい、弱いから強い、易しい動きから難しい動きへと発展させよう。

動きに対応してタイミングよく動く、バランスをとる、リズムカルに動く、力を調節して素早く動く能力を高めよう。

様々な動作

様々な用具

様々な空間

③【力強い動き】

繰り返すことのできる最大の回数などを手がかりに、無理のない運動の強度と反復回数を選んで行おう。

自己の体重や抵抗を負荷として、それらを動かしたり移動させたりして、力強い動きを高めよう。

重い物で

二人組で

自体重で

④【動きを持続する能力】

心拍数や疲労感などを手がかりにして、無理のない運動の強度と時間を選んで行うようにしよう。

1つ又は複数の運動を一定の時間連続して行ったり、回数を反復したりして、動きを持続する能力を高めよう。

1つの種目で

複数の種目で

⑤自分なりに効率よく行う運動やバランスよく高める運動の組み合わせ方を見付けよう。

■①～④の中から2つを選ぼう

--	--

■運動後に実感した効果を考えてみよう

--

【美術】 ※美術は、月に1度の課題となります。

<内容>

- **鉛筆を使って身近にあるお気に入りのものを描いてみましょう。**

<取り組み方>

- 1 鉛筆と、A4サイズ程度の紙を準備しましょう。（スケッチブック等でも可）
- 2 教科書P8を参考にして、身のまわりにあるお気に入りのもの（大切なもの、思い出のあるものなど）から、描きたいものを見付けましょう。
- 3 紙の真ん中に、大きく描くようにしましょう。
- 4 まずは大まかに形の特徴をとらえてから、細かな形をよく観察して描きましょう。
- 5 立体感を表すために陰影を付けたり、硬さや柔らかさなどの質感を表すために強く描いたり弱く描いたりして、鉛筆の使い方を自分なりに工夫してみましょう。
- 6 完成したら、作品の裏に、「①作品の題名」「②描きたいものを選んだ理由」「③うまく表せたところ・難しかったところ」を記入しましょう。

動画の解説もあります。↓



QRコードがうまく読みとれない場合は、札幌市教育委員会HPの「臨時休業中の学習課題」のページから見ることができます。

※さらに取り組みたい人はこちらのチャレンジ課題に挑戦してみてください。

<チャレンジ課題>

- ・関連のある2～3つのものを組み合わせて1枚の絵にしましょう。
- ・少し重ねたり角度を変えたりして、置き方も工夫してみましょう。
- ・完成したら作品のイメージに合った題名を工夫して付けてみましょう。

例) ランドセルとリコーダー 「小学校時代」
風鈴とうちわ 「夏の思い出」 など



※その他の取り組み方は必修課題と同じです。

<学習のヒント>

- ・自分が少しでも興味のある「描いてみたい」と思うものを見付けることが一番大事です。ここに時間をかけましょう。
- ・技術的にうまく描くことにこだわりすぎず、**選んだものに対する思いや、よく観察して表すことを大事に**しましょう。
- ・利き手ではない手を使って描いてみると、ゆっくりとしか描くことができない分、じっくりとももの見つめる力と、ものの形に沿って描く力が身に付くので、興味のある人は、練習として試してみるとよいですよ。